



第十五回 福高塾

白坂 保行氏 (高39回)

能楽師 大鼓方 高安流

一般社団法人日本能楽会会員 (重要無形文化財総合認定保持者)

公益社団法人能楽協会正会員 福岡市能楽協議会役員

『風 聲 水 音 (能への誘い)』

今年の「福高塾」は、日本の伝統芸能『能』において大鼓方の若手で活躍されている 白坂保行(しらすか やすゆき)氏(高39回)をお迎えして開催いたします。

テーマは『 風 聲 水 音 (能への誘い) 』

空を吹き渡る風、優しく頬をなでる風、季節をほのかに運んでくる風…

波の音、川の音、雨音、葉っぱからひとしずく落ちる水滴…

身の回りにあるありとあらゆるもの 森羅万象 すべてに心・魂が宿っている

しまにも音がある 耳を傾けてみよう…

能には日本人の智慧や言霊、心…がざっしりつまっています。難しい、つまらない…で能を敬遠することは、もったいないと思います。能に触れるというんなことに通じていでしょう。それはインスタントではありません。そのことが腑に落ちるには、時間がかかるかもしれません。けれど日本人が伝えてきたものの素晴らしさをぜひ多くの方に感じて頂きたいと思っています

能について、いろんな角度から入り口を用意したいと思っています。現代を生きる我々にとって、能がどんな風に生きてくるか…そんなことに挑戦していきたいと思っています。

東京福中・福高同窓会の縦の絆をより一層深める機会と致しく、皆様の参加をお待ち申し上げます。

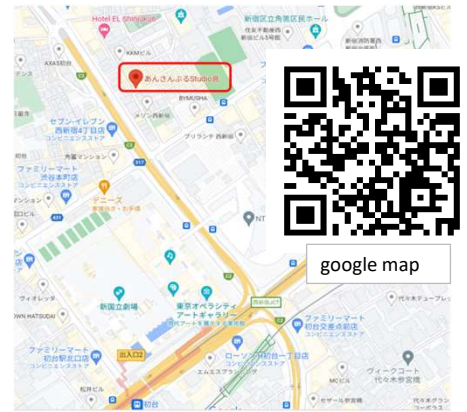
●日時 2023年12月1日 (金) 19:00~20:45 ※受付18:30~

●会場 あんさんぶる音

東京都新宿区西新宿4-37-11 (京王新線 初台駅東口 徒歩7分)

●受講料 1000円 ●定員 30名

<https://ensemble-studio.com/about-oto> →QR



21:00より、懇親会を開催いたします。現在未定ですが、近隣で行います。決定次第参加者へ案内させていただきます。(参加費: 5,000円程度)

白坂 保行氏

1968 福岡県北九州市生まれ

1972 親世流謡曲を故 角栄次郎 (親世流シテ方、重要無形文化財総合指定保持者) に師事。

同年 初舞台

1976 高安流大鼓を祖父 故 柿原繁藏 (高安流大鼓方、重要無形文化財総合指定保持者) に師事

1977 大鼓初舞台 (兄 信行と連調「富士太鼓キリ」)。

1984 福岡県立福岡高等学校入学

在学中に金春流太鼓を故 金春惣右衛門 (金春流太鼓 2 2 世宗家、人間国宝)、

故 津田美代子 (金春流太鼓方)

森田流笛を故 松尾千代太 (森田流笛方、重要無形文化財総合指定保持者) に師事。

高校在学中の土・日曜はすべて祖父の弟子として舞台へ同伴、出演もこの頃より有り。

1987 高校卒業と共に本格的に舞台生活。 ~その後の活動は次項を参照ください



申し込み方法

●メールの場合

a.kawazu@me.com

までメールをお送りください

※懇親会参加の可否も併せてお知らせ願います

◆応募締切: 11/17 (金) 必着

●FAXの場合

03 - 6740 - 2236 まで、下記申込書に必要事項を記入の上お送りください。

問合先 : 東京福中福高同窓会 企画委員会 担当: 河津明信 TEL : 090 - 3222 - 5558 SMS (ショートメールが助かります)

■ FAX送信用受講申込書

ふりがな		卒業年次	中・高	回	懇親会参加希望 (希望者は○)
お名前					
TEL	()	e-mail	PC	携帯	
FAX	()				

※ 個人情報 は申込受付および受付確認のご連絡など本セミナーを運営する範囲でのみ使用させていただきます。その他の目的で使用することはございません。

白坂 保行氏 略歴

1968 福岡県北九州市生まれ

1972 観世流謡曲を故 角栄次郎（観世流シテ方、重要無形文化財総合指定保持者）に師事。同年初舞台。

1976 高安流太鼓を祖父 故 柿原繁藏（高安流太鼓方、重要無形文化財総合指定保持者）に師事。

1977 太鼓初舞台（兄信行と連調「富士太鼓キリ」）。

1984 福岡県立福岡高等学校入学

在学中に金春流太鼓を故 金春惣右衛門（金春流太鼓2世宗家、人間国宝）、故 津田美代子（金春流太鼓方）。森田流笛を故 松尾千代太（森田流笛方、重要無形文化財総合指定保持者）に師事。

高校在学中の土・日曜はすべて祖父の弟子として舞台へ同伴、出演もこの頃より有り。

1985 海外公演1回目。ドイツハイデルベルグ。

1987 高校卒業と共に本格的に舞台生活。

一噌流笛を一噌庸二（笛方一噌流宗家、重要無形文化財総合指定保持者）に師事。

1988 上京、叔父柿原崇志（高安流太鼓方、重要無形文化財総合指定保持者、日本芸術院賞受賞者）に内弟子入門。

宝生流謡曲を武田孝史（宝生流シテ方、重要無形文化財総合指定保持者・東京芸術大学教授）。観世流太鼓を助川治（観世流太鼓方、重要無形文化財総合指定保持者）に師事。

1989 社団法人能楽協会入会（能楽師となる）。

1993 内弟子より独立。福岡に帰り、祖父、兄と共に九州を拠点とした活動を始める。

1996 福岡市内に転居。福岡市文化振興課より事業協力要請（ワークショップなど）を受ける。

福岡市能楽機協議会発足、住吉神社能楽殿の保存活用及び福岡市における能楽の発展を目的とし活動。事務局を担当する。

1999 博多「楽」結成。能楽堂以外での普及公演、クラシック音楽とのコラボレーションなどの革新的な実験、小中学校、養護施設、離島でのワークショップ、ホテルでのディナーショー、天神地区での初の薪能など年間 約40公演。

（財）福岡市文化芸術振興財団が創設されるとともに福岡青少年ワークショップ委員に選出され、能楽ワークショップ、観賞教室、日本各地の先進的文化施設への出張見学など多数経験。

2004 博多「楽」5周年事業としてアクロス福岡シンフォニーホールで創作能「博多山笠」を上演。脚本・作曲・囃子作調を担当する。オーケストラを組み込んだ福岡初の創作能。

とびうめ国民文化祭福岡、能狂言部門実行委員。

2005 福岡県伝統文化普及協議会委員就任。

2007 社団法人日本能楽会会員に認定（重要無形文化財総合指定保持者となる）。

2010 福岡市南区、九州大学の依頼により、新作能「松原桜」を制作。福岡市南市民センターで上演。1,300人を超える観客に大好評を博する。

2011 東日本大震災直後の4月、ハンガリー ソルノク市にてモーツァルトの楽曲に参加。能の舞を組み入れた鎮魂の演奏を行う。

裂帛の気合いと繊細なテクニックの両面を併せ持ち、楽曲を総合的な視点で見渡せる高い演奏能力には定評がある。

プレイヤーにとどまらず、プロデュース、演出、作曲にも長けている。

祖父故柿原繁藏よりはじまり、叔父柿原崇志、従兄弟柿原弘和、柿原光博、兄白坂信行と業界最大の大鼓の一家。

九州在住の大鼓方は白坂兄弟2名のみ。

舞台出演は年間100回以上。各流宗家、人間国宝との公演も多数。

パリ・エクサンプロバンス・ドール・ルアーブル（フランス）。ハイデルベルク・シュバイヤー（ドイツ）。アムステルダム（オランダ）・ソルノク（ハンガリー）。バンクーバー（カナダ）・ピッツバーグ・ボストン・オヴァーリン（アメリカ）。マレーシアとヨーロッパを中心に海外公演も多数経験。海外唯一初の常設能楽堂（フランスエクサンプロバンス市）の落成記念公演にも参加。



※チャンネル登録よろしくお願ひします。

推奨youtubeチャンネル

風聲水音】能楽師 白坂保行チャンネル

https://www.youtube.com/@syumpu_fenYz/videos

【能楽】能楽ちゃれんじ#02 「ひとりで八段打ってみた～高砂 八段之舞」

<https://www.youtube.com/watch?v=c1gGNkOY1IE>

【能楽】能楽ちゃれんじ #02.5 「ひとりで八段打ってみた～メイキング～」

[\(407\) 【能楽】能楽ちゃれんじ #02.5 「ひとりで八段打ってみた～メイキング～」 - YouTube](#)

～駆け抜ける清風～「博多・夏noh風」2020福岡市文化・エンターテイメント活動支援金参加作品

[\(407\)～駆け抜ける清風～「博多・夏noh風」2020福岡市文化・エンターテイメント活動支援金参加作品 - YouTube](#)

風聲水音 ～ 能への誘い (racms.jp)



「私の高校時代の1週間 40年前の福岡の能楽」移動中のおしゃべり#003

2023年9月19日 福岡→鳥栖

https://youtu.be/t97vC-n5i_w

